

なん
ぽろ

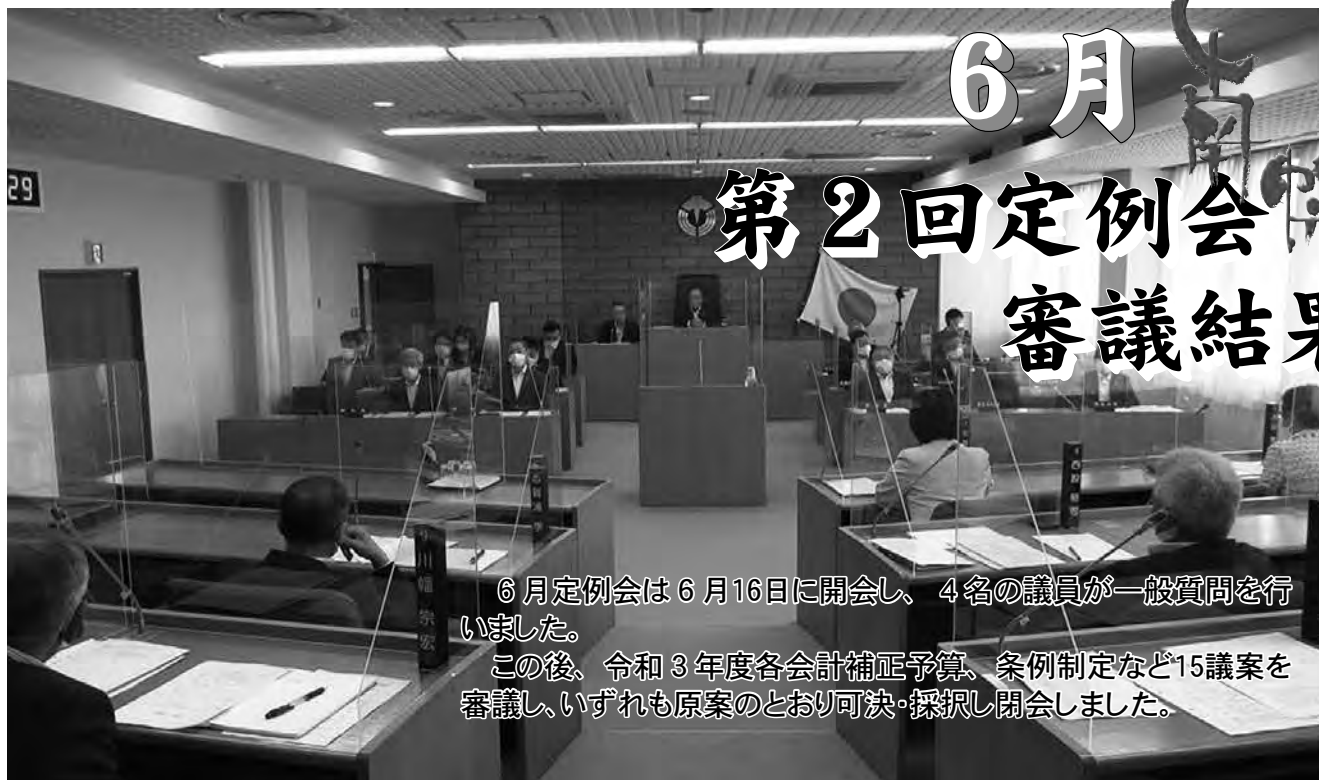
議会だより



第2回 定例会

新型コロナウイルスワクチン接種に係る追加経費。
子育て世帯生活支援特別給付金に関する補正予算を可決

6月に新規オープンしたカフェ&ドッグラン
「Ikor cafe」(イコロ カフェ) オーナーの中田さん夫妻
(札幌市から移住)



6月

第2回定例会 審議結果

6月定例会は6月16日に開会し、4名の議員が一般質問を行いました。
この後、令和3年度各会計補正予算、条例制定など15議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

令和3年度補正予算

○一般会計補正予算 (第1号)

歳入では、子育て世帯生活支援特別給付金等の国庫支出金、企業版ふるさと応援寄附金の追加、賑わい創出広場整備事業に係る道支出金、町債の減額。

歳出では、子育て世帯生活支援特別給付金事業、新型コロナウイルススワクチン接種事業に係る経費等の追加、賑わい創出広場整備事業の減額による。

◆補正額 106万8千円追加

条例制定等

○デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(改正)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正による。

○南幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を

定める条例(改正)

子ども・子育て支援法等の改正による。

○南幌町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例(改正)

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の改正による。

○南幌町議会会議規則(改正)

標準町村議会会議規則の改正による。

専決処分

○令和2年度一般会計補正予算(第12号)

歳入では、地方譲与税、地方交付税等の最終確定に伴う精査。

歳出では、高度無線環境整備推進事業、緊急経済支援事業等の減額による。

◆補正額 2491万2千円減額

質疑

議員

高度無線環境整備

推進事業の進捗状況、供用開始予定は、まじつくり課長

今年度内に事業完了予定であり今後、仮申込み等を住民に周知する。供用開始は令和4年度からとなる。

○町税条例(改正)

地方税法等改正のため。

財産の取得

取得財産

情報系システム一式

取得方法 北海道市町村備

荒資金組合防災資機材譲

渡事業に基づく譲渡

取得金額 3410万円

北海道市町村備荒資金組合

の契約相手

東芝デジタルソリューションズ(株) 北海道支社

取得財産

南幌中学校教育コンピュ

ーター備品一式

取得方法 北海道市町村備

荒資金組合防災資機材譲

渡事業に基づく譲渡

取得金額 1518万円

北海道市町村備荒資金組合

の契約相手

富士電機ITソリューション(株) 北海道支店

その他

○辺地に係る総合整備計画の策定

川向辺地に係る公共的施設の整備に伴い、川向辺地総合整備計画を策定する必要があるため。

○南空知公衆衛生組合規約の変更

○南空知葬斎組合規約の変更

○南空知消防組合規約の変更

○令和2年度南幌町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○米の需給・価格安定対策と米政策の見直しに関する意見書

提出者 本間 秀正議員

○保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書

提出者 熊木 恵子議員

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

令和3年第2回議会定例会

令和3年度会計補正予算、条例制定など15議案について、議長を除く8名の議員が賛成しました。【欠席議員2名】

※議長は採決に加わっていません

議会の動き

全員協議会

4月27日

○町立病院の経営状況について

○デマンド型乗合タクシー運行事業について

○高度無線環境整備推進事業（光ファイバー整備）について

○南幌温泉露天風呂について

6月3日

○辺地総合整備計画について

○南幌温泉への経営支援について

○中央寿の家の解体について

委員会活動

総務常任委員会

4月7日

○議会に寄せられた住民からの意見について

6月22日

○議会に寄せられた住民からの意見について

らの意見について

○GIGAスクール構想について

産業経済常任委員会

5月11日

○令和2年度事業計画の点検と今年度繰越分について

○書面懇談会意見に対する調査について

○オンデマンド交通について

○誘客交流拠点施設について

○南幌町まちをきれいにする条例制定について

議会運営委員会

4月27日

○議会評価提言者への委嘱状交付及び第1回議会評価提言者会議

6月9日

○定例会の運営について

南幌町まちづくり特別委員会

4月7日

◆産業経済常任委員会を傍聴する
議会評価提言者のみなさん

○オンライン活用による会議の申し合わせ事項について
○議会に寄せられた住民からの意見について



6月定例会

一般質問に4人が登壇

議員本人が内容を要約して掲載しています



佐藤妙子 議員

Q デジタル化に向けて誰もが
利用しやすいサービスの提供をA 行政手続きのデジタル化に
ついて検討します

佐藤議員

政府は本年5月にデジタル改革関連法案を成立させ、今後は行政サービスのスピーディーな対応や効率化、利便性が図られると言われています。

この法案の基本原則には、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を主として進めていくとあり、特にマイナンバーカードを活用した災害、感染症に強い社会の構築を目指しています。

今後進められるデジタル化に対し、本町でも町民誰もが利用しやすい新しいサービスを提供することが必要です。

①デジタル化に向けた現状と課題、今後の基本的な考えは。

町長

①具体的な方針や取り組みが国から示されることが想定され、それらの内容や他自治体の状況等を踏まえて、検討します。



マイナンバーカードを受け取る様子

佐藤議員

②オンライン化による窓口のワンストップ化※の考えは。

町長

②データ連携、クラウド活用などの調査・研究を進めていきます。

佐藤議員

③マイナンバーカードを持つことのメリットやデメリットを広く町民に周知する考えは。

町長

③利便性や安全性について、引き続き町広報誌などで啓発を行います。

佐藤議員

④デジタル活用支援員やデジタルサポーターなど、人材確保や人材育成の考えは。

町長

④行政手続きの支援は職員

Q

読解力向上のための、さらなる施策の考えは

A

語彙力を身につけることが重要

佐藤議員

全国的にも子どもの活字離れが進んでおり、特に読解力の低下が顕著になっています。本町でも喫緊の課題として読解力向上のためのさらなる施策の考えを伺います。

①学校図書館の活用とその効果についての考えは。

教育長

①児童生徒が興味のある図書や、蔵書の充実を図り、利用を促進することが、語彙力を身につけ、読解力の向上に繋がるものと考えます。

佐藤議員

②童話、絵本コンクールなど、児童生徒の創作力を養い読解力を向上させる取り組みは。

教育長

②現在、子どもの読書活動推進計画に基づき、ブックスタートや朝の読み聞かせ、朝読書、読書感想文コンクールなど、充実を図っています。

佐藤議員

③児童生徒を取り巻く情報環境は、これまでの紙媒体とは大きく変化しているが、今後の取り組みと課題は。また、学校図書館やばら図書室においての電子書籍導入の考えは。

教育長

③学校全体で課題を共有し、組織的に取り組みます。また、電子書籍の導入については、近隣の図書館や全道の状況も勘案し、検討していきます。

での対応を考えていますが、今後の国の動向を注視します。
※ワンストップ化は役所などで複数のに分かれていた窓口を総合窓口として手続きを1か所で行えるようにすること。

Q コロナ禍収束後の 生涯学習センターの利活用について

A 幅広い世代の方々に 利用していただく活用方法を探ります



内田恵子 議員



ほろろ正面玄関のオープンスペース

内田議員

本町も新型コロナウイルススワクチン接種が医療従事者、高齢者を優先的に始まり、一日でも早く2度のワクチンを無事に接種し、新型コロナウイルス感染症を克服する切り札になることを願っています。

そのような中、コロナ禍により我慢を強いられた子どもたちの心にも影響を与えていると思います。コロナ禍ゆえに新たなことを見つけている子どもや、大人の方もたくさんいると思います。

生涯学習の中心施設であるほろろについては、現在

主に少年団活動や学習塾として利用されていますが、全て有効活用されているとは思えません。今後、世代を超えた交流の場やSDGs、コミュニティ・スクール活動の場として、利用する考えは。

教育長

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により利用を制限していますが、収束後は自宅で過ごす時間が増えたことにより制作した作品の発表の機会を提供するなど、幅広い世代の方々に利用していただけるよう周知し、この施設を使って良かったと言ってもらえるようにSDGsの目標「質の高い教育をみんなに」を目指して活用方法を探っていきます。

コミュニティ・スクールについては、学校を拠点として地域住民と協働で学校運営に取り組んでいきますので、学校運営協議会などの協議を開催する以外に活動する場としての考えはありません。

Q

南幌高校への
今後の応援と支援について

A

小規模校の特性を生かした
教育活動を継続して支援します

内田議員

60年の伝統を持つ南幌高校も閉校まで残すところ2年を切りました。3年生13名、2年生6名がコロナ禍で大変厳しい時間を過ごしている生徒たちですが、進学、就職の面接で高校生活の経験を堂々と言える生徒であってほしいと願い、町として最後まで支援していただきたく伺います。

①緊急事態宣言により、見学旅行も行先が九州方面から道東方面に変わりました。多良木町訪問に向けて事前学習をした「南幌学」に発表の機会を設ける考えは。

町長

①高校から、9月に町民の見学も可能な「南幌学」の発表を計画していると聞いているので、町としても必要に応じて支援します。

内田議員

②オソコの実をイメージした、南幌高校のオリジナルキャラクター「いっちゃん」を南幌町のマスコットとして活用する考えは。

町長

②南幌高校の生徒が、南幌高校オリジナルキャラクターとして発案したものであることから、町のマスコットとする考えはありません。



南幌高校見学旅行での研修の様子



熊木恵子 議員

Q 高齢者補聴器購入費助成について

A 国の公的補助の制度化が望ましい

熊木議員

人間は誰でも加齢とともに高い音から聞こえにくくなり、70歳以上の約半数に難聴があるとされています。言葉が聞こえにくくなると認知機能が低下し、日常生活の中で意思疎通がうまくいけなくなったり、コミュニケーションにも支障が出て社会的に孤立するケースもみられます。難聴になったら、なるべ



く早い時期に補聴器の使用が聞こえの改善に大切です。しかし補聴器は高価で年金生活者にとっては手が届かず、諦めている間に難聴が悪化する状態がみられます。そこで、補聴器購入の公的補助制度の創設と、健康診断に聴力検査を取り入れ、難聴者の実態をつかむことが必要と思うが町長の考えを伺います。

町長

難聴は高齢者の多くが直面する課題であり、国においては、難聴と認知症に関する臨床研究を実施するなど、認知症発症のリスク要因としても注目されています。本町の補聴器購入の補助については、聴覚障がいのある方が手帳の交付を受けている方、及び難病患者の方を対象とした国の補助制度により対応しています。国の公的補助として制度化されることが望ましいと考えており、今後、国や道、他市町村の動向を注視していきます。

Q

誘客交流拠点施設建設の

今後の予定は

A

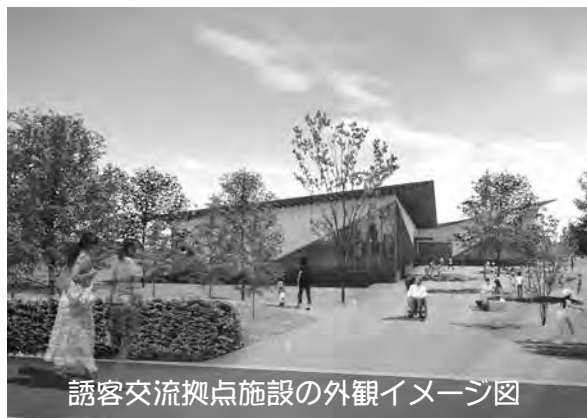
限度額を基本に整備を進めていく

熊木議員

地方創生拠点整備交付金ที่ไม่採択となり、整備のスケジュールを見直すとの広報5月号に掲載されています。住民の意見を伺いながら進めていくとしているが、具体的にどのような見通しか。新型コロナウイルス感染症により、新たな生活スタイルが呼びかけられ室内の狭い空間に集うことを避ける状況が生まれているのではないかと。住民の意見を聞く機会と事業費について木材や備品の高騰による建設費等の見直しについての考えは。

町長

さっぽろ連携中枢都市圏ビジョンに位置付けられるよう協議を進め、圏域での連携強化に取り組む、令和5年のオープンを目指し事業を進めていきます。また、行政懇談会を10月から11月にかけて開催し、多くの町民からのご意見を賜りたいと考えています。徹底した新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を講じるとともに、事業費については、限度額を基本とし、整備を進めていきます。



誘客交流拠点施設の外觀イメージ図

Q 南幌町第6期総合計画 後期計画の策定について

A 総合計画策定審議会で 審議を進めます



細川美喜男 議員

細川議員

本年度は、平成29年度から始まった南幌町第6期総合計画後期計画の策定年度です。

これまで実行してきた施策を検証の上、見直しが必要な場合は、改めて基本計画を策定することとなります。

第6期総合計画の策定当初には、想定していなかった北海道ボールパークが北広島市で令和5年に開業することや新型コロナウイルス感染症など南幌町を取り巻く状況が大きく変わっています。

町長が就任され初めての総合計画後期計画の策定にあたり、町長の目指すまちづくりのため、新たな計画を盛り込まなければならなと思います。新たな事業を検討しているか伺います。

町長

後期計画は、本町を取り巻く情勢の変化を踏まえ、第6期総合計画の基本理念である「誰もが笑顔で活躍できるまちづくり」、第2期南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の将来ビジョ



ンである「30年後も子ども達という風景」を基本に策定を進めます。

後期基本計画は、基本構想を基礎とした計画であることから、町民からの意見掌握については、パブリック・コメント、行政懇談会、必要なアンケート調査を予定しています。

計画の策定にあたり、全職員の能力を引き出したいとの思いから主幹、主査職をセミナー、ワークシopp、主任職以下の若手職員

には、職員研修などを通じて新たな取り組みや提案を求めます。

町民からの意見や職員から提案された事業は、庁内組織で検討し、総合計画策定審議会で審議をします。

細川議員

コロナ禍ですが行政懇談会が予定どおり実施されることを心から願い、また、町職員においては、若手職員を含む全職員の能力を引き出すとのことで、新たな



取り組みを検討されており、町長の後期計画への強い意欲を感じました。

後期計画の具体的な検討は、これから本格的に取り組まれると思います。町民全員が期待の持てるまちづくりの後期計画を検討していただきたい。



令和2年度分 町議会議員の税等納付状況

令和3年6月1日現在
南幌町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を確認した結果、全ての議員において未納はありませんでした。

私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します



イコロ カフェ
Ikoro cafe 中田 豊久さん (15区)

昨年、札幌市から夫婦で南幌町へ移住しアメリカンカジュアルスタイルの「Ikoro cafe」を経営されている中田豊久さんをご紹介します。

「Ikoro」とはアイヌ語で「宝物」という意味だそうです。



ドッグランが併設された店舗

☆南幌町を選んだきっかけは？

仕事の関係で訪れた南幌町は札幌、恵庭、千歳に近く、道央圏連絡道路が完成するとさらに交通の便が良くなると感じ好印象でした。町の親切な対応もあり、南幌の魅力を感じ開業に至りました。

☆どのようなお店ですか？

オールドアメリカンスタイルで店内の装飾を統一し、ジャズが流れる心地よい雰囲気です。ドッグランを無料で開放し、昼はカフェ、夜はアルコールも提供し、ゆっくりと雰囲気をお楽しみいただけるような店づくりを目指しています。また、ペット同伴でなくても、誰でも気軽に立ち寄っていただきたいです。(ドッグランのみのご利用はできません)

☆コロナ禍で大変なことは？

国の基準やルールを守り、店舗建設時から換気を重視した店内設計を自ら行い、対策を徹底し安心して過ごせるようにしています。町内を始め、町外からも多くのリピーターにご利用いただいたり喜びを感じています。

☆町や議会に対し、要望があればお聞かせください。

札幌から移住し、まずゴミ袋の種類の多さにエコやクリーンなイメージを感じました。さらに良くするためにゴミステーションの完備・管理や町道の清掃など検討して欲しいと思います。

とても話しやすいマスターと素敵な奥様、そして看板犬のゴンちゃん(ラブラドル・レトリバー)にお出迎えして頂きました。野球やバスケットボールの審判の資格もあるそうで、町内の催し物などで人手不足の時はぜひ協力したいとのこと。多趣味なマスターですので、どんな話題でも楽しく過ごせそうなお店といった印象でした。(加藤)

なんぼろ議会だより

令和3年8月1日 第155号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL011-378-2121

発行/南幌町議会

編集/議会広報特別委員会

(西股・内田・石川・加藤・細川)

印刷/山東印刷(株)

南幌町の新型コロナワクチン接種の状況は、町民皆さまのご理解とご協力によりスムーズに進んでおり、7月中には65歳以上のワクチン接種を希望されている方々の接種を終える見込みです。また、16歳以上の方々を対象とした予約受付も始まりました。ワクチン接種により、新型コロナ感染症が収束し、平穏な日々が戻ってくることを願っています。

議会だより155号をお届けします。第2回定例会の審議内容、4名の一般質問を中心に掲載しております。例年行っている視察受入や調査等もコロナ禍と云うことで活動自粛となり、物足りなさを感じる場所ですが、次号より思考をこらした内容を検討して参ります。

(西股)

編集後記